

菊川直轄河川改修事業 説明資料

平成26年10月30日

国土交通省中部地方整備局
浜松河川国道事務所

目次

1. 事業の概要	
1)流域の概要	1
2)主要洪水	2
3)事業の目的及び計画内容	3
2. 評価の視点	
事業の必要性等に関する視点	
1)事業を巡る社会経済情勢等の変化	4
2)事業の投資効果	5
3)事業の進捗状況	6
3. 県への意見聴取結果	7
4. 対応方針(案)	7

1. 事業の概要

1) 流域の概要

菊川は、静岡県掛川市粟ヶ岳を源とし、牛淵川等の支川を合わせて遠州灘に注ぐ、幹川流路延長28km、流域面積158km²の一級河川です。

菊川流域は牧之原台地西斜面と小笠山に挟まれ、上流域では特産品である茶の生産が行われています。

流域内には、東名高速道路、新東名高速道路、国道150号、JR東海道新幹線、JR東海道本線等の重要交通網が横切っています。

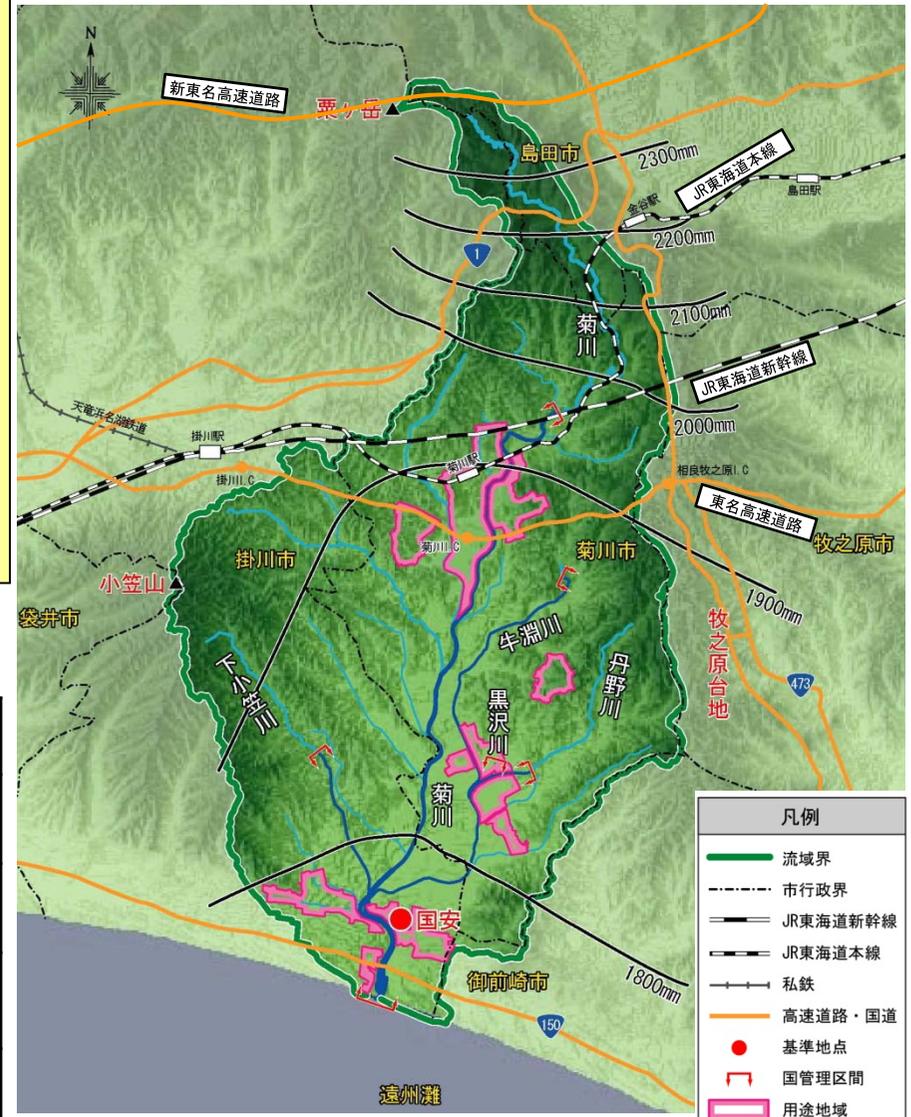
流域の平均年降水量は、平野部で約1,900mm、山間部では約2,100mmとなっています。

位置図



菊川流域の概要

項目	諸元
幹川流路延長	28km
流域面積	158km ²
流域内市	菊川市、掛川市、 島田市、御前崎市
流域内人口	約7万人



流域図及び平均年降水量分布図

2) 主要洪水

菊川においては、観測史上最大洪水である昭和57年9月の台風18号による洪水により、菊川市潮海寺地先の破堤氾濫や八王子橋流出(菊川市本所)、内水による浸水被害等が生じました。近年では平成10年9月の前線による豪雨により、JR菊川橋梁付近での越水や菊川市加茂等での内水による浸水被害等が生じました。

主要洪水一覧

発生年月	発生原因	洪水流量 (国安地点)	浸水面積※2	浸水家屋※2	
				床上	床下
昭和29年 9月	台風14号	約780m ³ /s	詳細不明	69棟	507棟
昭和33年 9月	台風21号	約550m ³ /s	詳細不明	—	256棟
昭和43年 7月	梅雨前線及び低気圧	約690m ³ /s	詳細不明	28棟	373棟
昭和47年 7月	台風6号及び梅雨前線	約670m ³ /s	39ha	—	24棟
昭和57年 9月	台風18号	約1,500m ³ /s※1	616ha	1,004棟	1,091棟
平成10年 9月	前線による豪雨	約1,200m ³ /s	476ha	41棟	304棟
平成16年10月	台風22号	約790m ³ /s	250ha	1棟	32棟
平成16年11月	秋雨前線	約930m ³ /s	125ha	5棟	108棟

※1：流量は氾濫がないとした場合の計算値

※2：浸水面積及び被害の出典「水害統計（建設省）」

昭和57年9月洪水 出水状況（菊川市本所）



平成10年9月洪水 浸水状況（菊川市加茂）



平成16年10月洪水 浸水状況（菊川市下平川）



3) 事業の目的及び計画内容

「菊川水系河川整備基本方針」(平成18年2月策定)で定めた目標に向けて、段階的かつ着実に整備を進め、洪水等による災害に対する安全性の向上を図ることとしています。現在想定している概ね30年間の主な整備内容は、下記のとおりです。

概ね30年間の主な整備内容(予定)

【洪水対策】

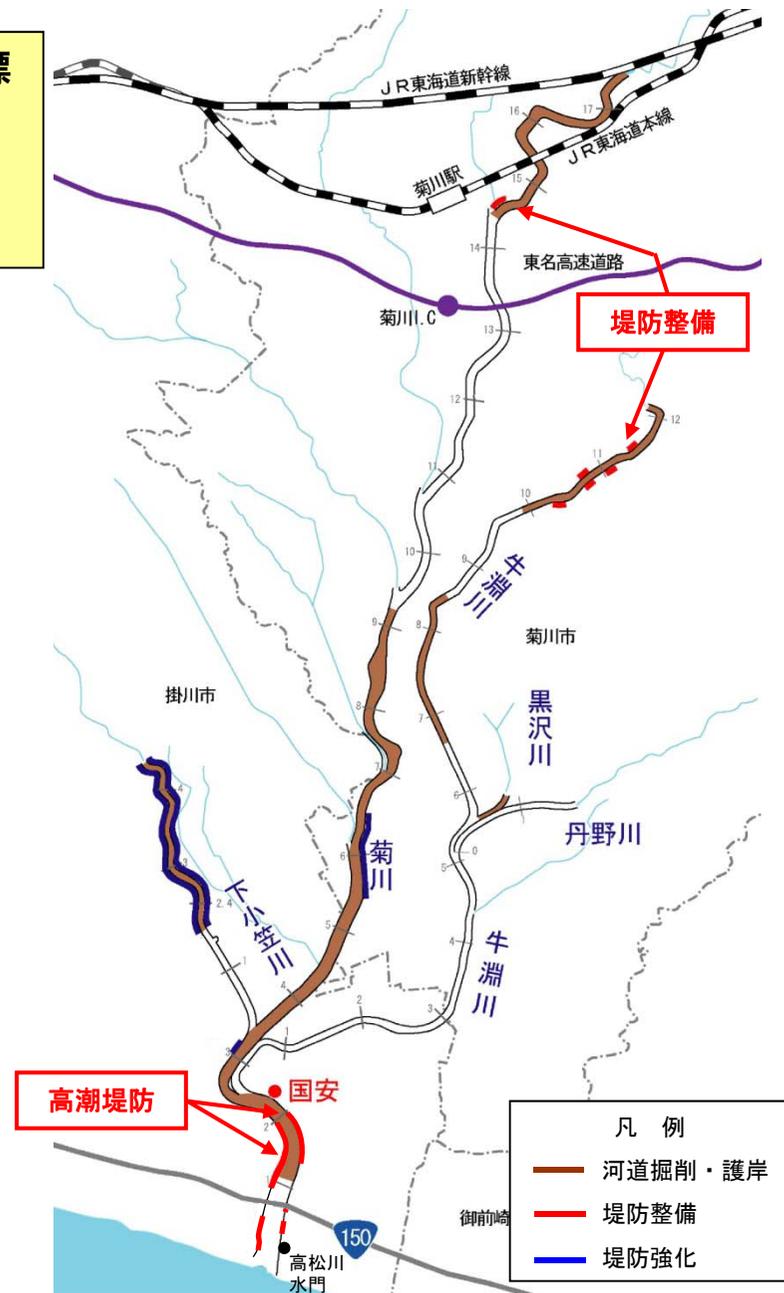
基準地点の国安で観測史上第2位規模の洪水(平成10年9月洪水)相当の洪水に対し、被害の軽減を図るため段階的に河川整備を行います。

【高潮対策】

伊勢湾台風相当の高潮に対し、高さ、断面等が不足する高潮堤防の整備を行います。

目的	整備内容	
洪水対策	河道掘削	約73万m ³
	護岸	約30km
	堤防整備・堤防強化	約7km
	床止めなどの横断工作物撤去・改築	28箇所
高潮対策	高潮堤防整備	約2km

※現在、河川整備計画策定中であり、上記の整備内容及び整備区間については、今後変更されることがあります。
 ※堤防強化には、耐震対策・浸透対策を含みます。



概ね30年間の主な整備区間(予定)

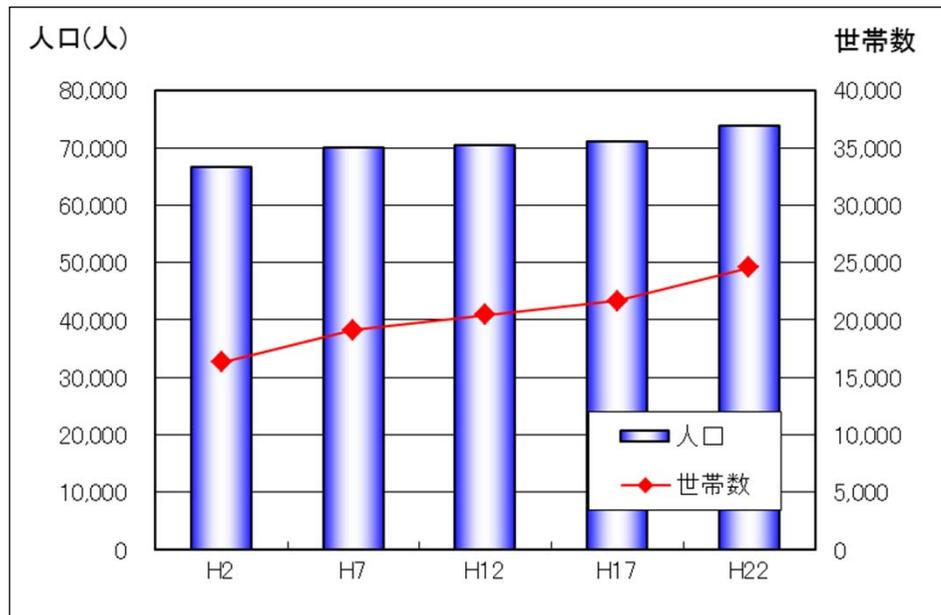
2. 評価の視点

事業の必要性等に関する視点

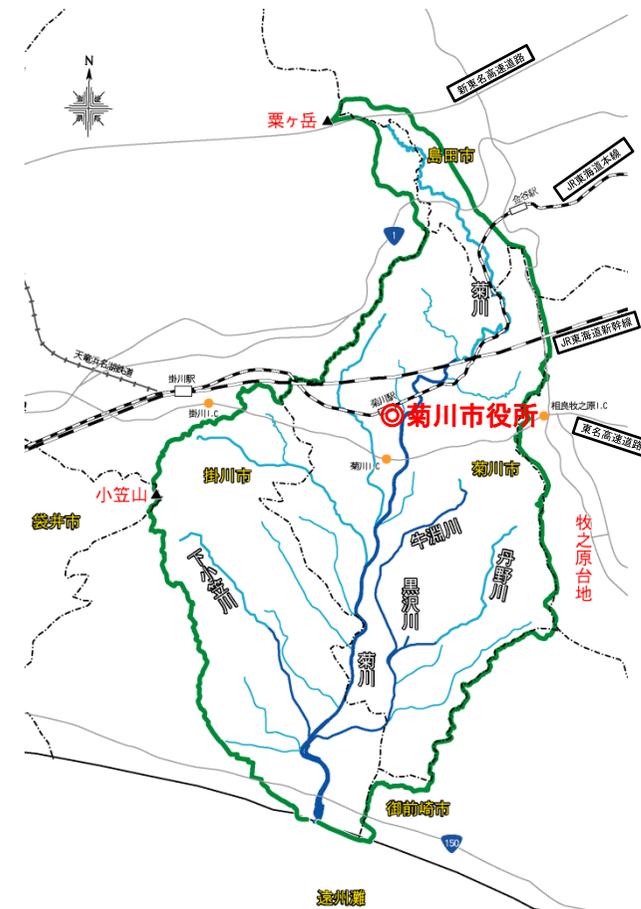
1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- ・菊川流域内の人口・世帯数は増加傾向にあります。
- ・流域には、東名高速道路、国道150号、JR東海道新幹線、JR東海道本線等の重要な交通網が集中しており、平成24年4月には、新東名高速道路が供用開始され、一層の経済発展が見込まれています。

流域内の人口と世帯数

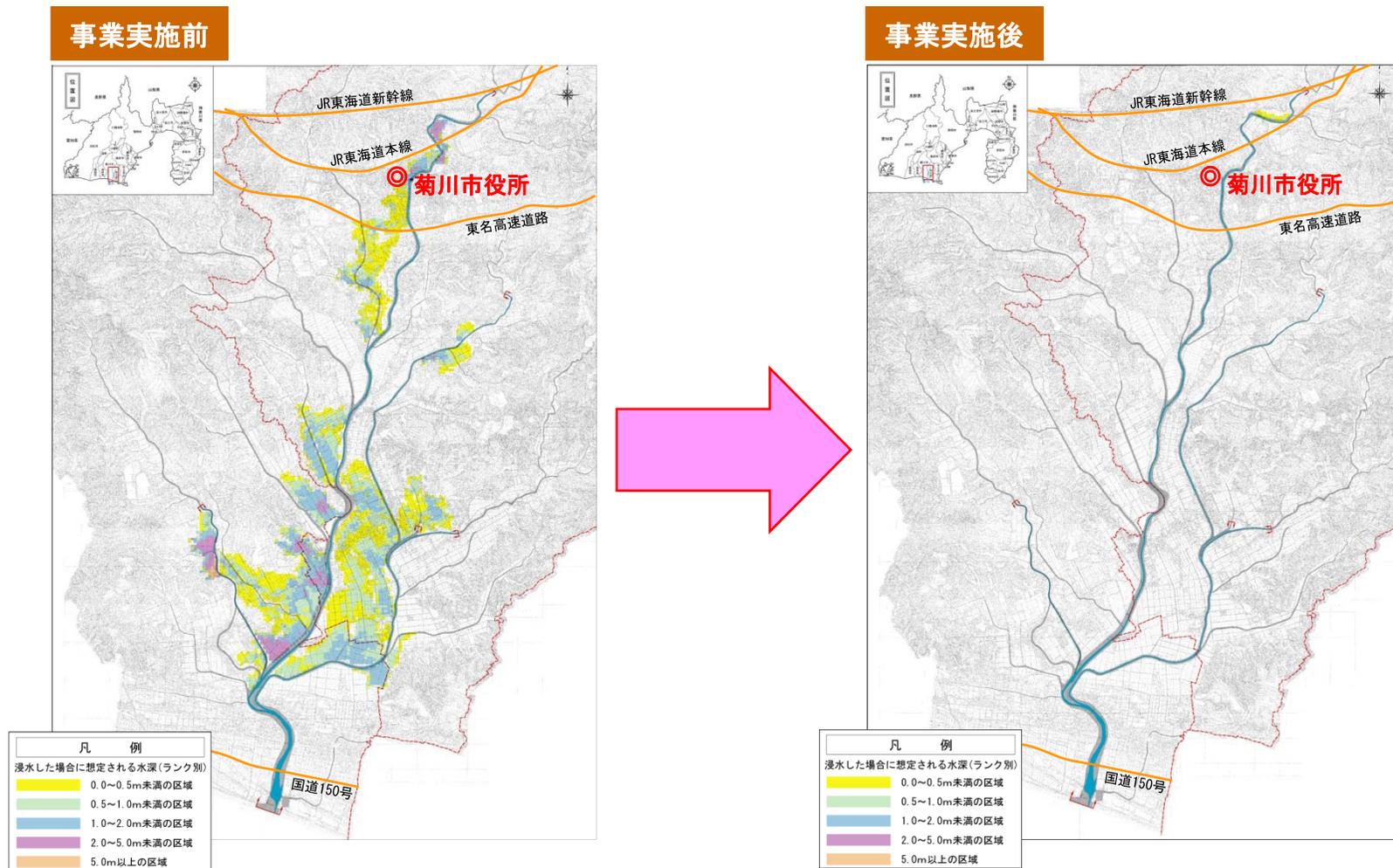


出典：河川現況調査(H2~17)
※人口、世帯数(H22)は、国勢調査より



2) 事業の投資効果

基準地点の国安で観測史上第2位規模の洪水(平成10年9月洪水)と同規模の雨が降ったことにより想定される氾濫被害は、浸水面積約1,200ha、浸水人口約11,000人、浸水家屋数約3,300世帯であり、整備を実施することで氾濫被害が概ね解消されます。

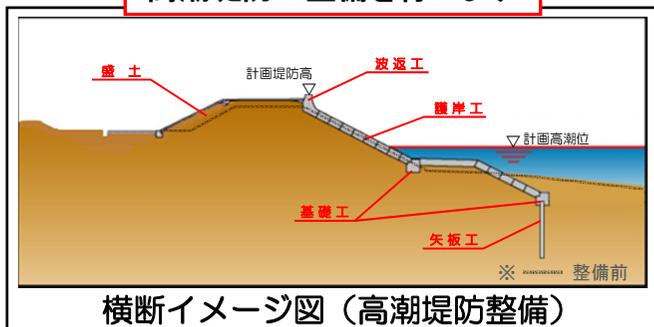


※最大湛水深図は、50mメッシュの平均地盤高を基に氾濫計算を実施した結果を示しています。

3) 事業の進捗状況

前回の事業再評価(平成23年度)以降、河口部の高潮堤防整備等を実施しています。

高潮堤防の整備を行います



高潮堤防整備状況(菊川右岸0.5k付近)



高潮堤防整備区間

事業の実施状況

目的	整備項目	全体(A)	H26年度末完成(予定)(B)	整備率(B)/(A)
洪水対策	河道掘削	約73万m ³	0	0%
	護岸	約30km	0	0%
	堤防整備・堤防強化	約7km	0	0%
	床止めなどの横断工作物撤去・改築	28箇所	0	0%
高潮対策	高潮堤防整備	約2km	約900m	45%

3. 県への意見聴取結果

静岡県：

菊川は、静岡県西部に位置し、その源を静岡県掛川市粟ヶ岳に発し、牛淵川等の支川を合わせながら南流し、遠州灘に注いでいます。

本事業は、高潮対策や洪水対策として、堤防整備や河道掘削などを実施することで、高速道路や国道、幹線鉄道が通る交通の要衝を有する菊川市や掛川市などの菊川流域の浸水被害を軽減する、大変重要な事業です。

今後も、コスト縮減の徹底とともに、効果が十分に発現されるよう事業の推進をお願いします。

また、各年度の実施に際しては、引き続き、県と十分な調整をお願いします。

4. 対応方針（案）

以上のことから、菊川水系河川整備基本方針に基づく、河川改修事業を継続します。